

クリスマスの祈り

主任司祭 吉池 好高

クリスマスおめでとうございます。クリスマスの喜びが、わたしたちの心を満たし、迎える新しい年へと広がってゆきますように。クリスマスの喜びは、わたしたちが生きる現実の世界にたとえどのようなことが起ころうとも、神の御子がそこにともにごさることを知ることができた喜びです。凍空の下で夜通し群れの番をしていた羊飼いたちに神の使いがもたらした喜びです。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町であなた方のために救い主がお生まれになった」。

羊飼いたちが聞いた天使の歌声は、クリスマスの夜、教会のミサに集まったわたしたちの上にも響いています。その歌声に合わせて歌うクリスマスの歌が、わたしたちの中にも喜びとなって広がってゆきますように。聖堂に響くクリスマスの歌が、師走の町にも広がってゆきますように。このクリスマスがわたしたちの心に暖かさを取り戻す機会となりますように。共に生きることへの喜びと感謝を呼び起こす機会となりますように。一人になっても生きる希望を失うことのない希望を持ち続けることのできる励ましを与えてくれますように。孤独の中に生きる人への思いやりを忘れないようにしてくれますように。わたしたちが今宵おもいを馳せる天からのメッセージが、真実わたしたちを奮い立たせるものとなりますように。神も仏もないと言ってはならないのです。

そのように言わざるをえない現実を生きる人々のために、神自らがこの現実を生きる乳飲み子となってわたしたちの中に来てくださったのです。つらいこの世の現実には翻弄されている人々にクリスマスのメッセージを届けるために、せめてこのクリスマスの夜、わたしたちも天使とともにクリスマスの喜びの歌を精一杯歌いたいと思います。